

朝日町大平のマルトビムシ

布村 昇
富山市科学文化センター

Sminthurid Collembora from Daira, Asahi-machi, Toyama Prefecture.

Noboru Nunomura
Toyama Science Museum

機会あって、新潟県境に近い、落葉広葉樹林落ち葉をみたらマルトビムシの仲間がたくさんいるのが見えた。そこで、早速ツルグレン装置に掛けるところ、多数のマルトビムシが出たので、わが国におけるこの類の研究者、昭和大学の伊藤良作博士に同定をしていただいた結果、次のとおり3種が出た。朝日町においてはマルトビムシが少ないと思われるのでここに記しておく。

なお、マルトビムシは原始的な昆虫とされる粘管目(トビムシ)目 Collembolaの一群でマルトビムシ科 Sminthuridaeに属するものである。データはいずれも、富山県朝日町大平の落葉広葉

樹林の林縁で1996年11月22日、布村が採集したものである。同定下さり、文章を見ていただいた昭和大学の伊藤良作博士に御礼申し上げます。

- Papirinus prodigious* Yosii, 1954 6個体
 - Ptenothrix janthina* Börner, 1909 25個体
 - Dicyrtomia leptothrix* Börner, 1909 32個体
- (1996年12月29日受理)

きるか、興味と関心が湧く。

なお、このゼニゴケの同定(1994年6月)は名古屋大学名誉教授・元日本蘚苔類学会会長高木典雄博士によった。記して深甚なる感謝の意を表する。

ちなみに、これまで知られている銅ゴケというのは蘚類の仲間である。ゼニゴケの銅耐性には若干の不審の念なしとはしないが、同じく苔類の一種ホソバミズゼニゴケ(ムラサキミズゼニゴケ) *Pellia endiviifolia* (Dicks.) Dum. の銅蓄積と銅の転流に関する報文(佐竹1985)がある。苔類中の一種であるからとゼニゴケにも佐竹報文にあるような生態がみられるかも知れない…などと憶測するのは無理であろう。ただ、このゼニゴケが前述のように緑青の雨水の流路に生きているのであるから、今後の生育状況(変化)の観察・測定、試料による銅成分の体内蓄積など、定性的・定量的な検証を——、これは興味ある課題とさえよう。

参考文献

久野哲夫, 1995. 銅ゴケ雑感・ホンモンジゴケを探る・ホンモンジゴケの生育地追加. 東京都杉並区立科学教育センター研究報告, (3), 7-8.

長田武正, 1988. こけの世界. 大塚薬報, (426), 4-12.

織田樹郎・本浄高治・寺田喜久雄, 1992. 金属耐性コケ中の重金属のキャラクタリゼーション. 平成6年度金沢大学理学研究科化学専攻修士論文要旨・日本化学会第63春期年会講演要旨集, 809-814.

Oda, T. and T. Honjo, 1995. Characterization of Copper, Lead and Zinc in Metal Tolerant Mosses, *Atrichum undulatum* (Hedw.) P. Beauv., *Scopelophila cataractae* (Mitt.) Broth. and *Pohlia bulbifera* (Warnst.) Warnst. in Heavy Metals Pollution Areas. 植物地理・分類研究, 43 (1-2), 91-102.

佐竹研一・宮坂恵子, 1985. ホンモンジゴケによる銅蓄積. 日本蘚苔類学会会報, 4 (3), 42.

——, 1985. ホソバミズゼニゴケによる銅蓄積と銅の転流. 日本蘚苔類学会会報, 4 (3), 42-43.

——, K. Shibata, M. Nishikawa & K. Fuwa, 1988. Copper accumulation and location in the moss *Scopelophila cataractae*. J. Bryol., 15, 353-376.

——, 1990. ホンモンジゴケと銅(1)ホンモンジゴケの分布. 日本蘚苔類学会会報, 5 (4), 49-53.

——, 1991. ホンモンジゴケと銅(2)銅の蓄積. 日本蘚苔類学会会報, 5 (7), 105-107.

寺尾恭平, 1991. ホンモンジゴケ二題. 三重コケの会ニュース, 16 (1), 1.

山岡正尾, 1993. 富山県におけるホンモンジゴケの分布. 日本蘚苔類学会会報, 6 (2), 25-26.

——, 1994. 富山県内のホンモンジゴケ生育地—I. 富山県生物学会・富山の生物, 33, 28-29.

——, 1996. 富山県におけるホンモンジゴケの分布—III. 日本蘚苔類学会会報, 6 (9), 192.

山梨県立日川高等学校化学生物部(田中達弥校長・雨宮一夫教諭指導), 1993. ホンモンジゴケの生態について—環境指標植物としての立場から—. 山梨県立日川高等学校化学生物部報, 1-18. (第37回日本学生科学賞受賞, Proc. Bryol. Soc. Japan, 6(4), 72. 1994で紹介)

(1996年12月20日受理)

追記

本稿送付後に下記の情報を得た。今のところ、おそらくここを本種の分布北限と見るべきであろう。

佐竹研一, 1997. ホンモンジゴケ青森県弘前市で発見. 子供の科学, 60 (1), 48.

〈注, 弘前市の長勝寺の本堂下で, 1996. 10. 29〉